

選定

1. 選定の基本条件 #169

目的と手段を明確にすること

- ・目的：神に仕えること。神の賛美と奉仕につながる。
- ・手段：結婚・仕事・収入を得ること・ライフスタイルの選択など

2. 選定の対象 #170

・身分 (state of life) の選択：

結婚・司祭叙階・修道誓願のように人生で 1 回限りのもの：変更不可

・ライフスタイル (way of life) の選択：

仕事・住まいなどライフスタイルの選択－変更可

3. 選定の時機・方法

1) 直観的に #175

2) 心の動きを通して－慰めとすさみ #176

3) 理性的に #177

4. 理性的に選ぶ場合の順序

1) 選択の内容を決める。A か B かの二択にする #178

2) 神に仕えるという目的を前にして、不偏心（偏らない心）で #179

3) より良いものを選べるように願う #180

4) それぞれを選んだときの、プラスとマイナスを書き出す #181

5) 理性がどちらに傾いていくかを冷静に見る #182

6) その選びを神に献げる #183

5. 選定のための第 2 の方法

1) 一度も会ったことのない人が同じ立場にいたら、どういうアドバイスをするか #185

2) 自分の臨終の場面を思い浮かべ、あのようになればよかったと思うことは #186

3) 最後の審判を思い浮かべ、あのようになればよかったと思う方は何か #187

6. 確認の大切さ

重大なことであればあるほど、その選びを確認する時をもつとよい。